

「変化を作り出す」企業へ

～富士フィルムの経営戦略～

2019年12月4日

富士フィルムホールディングス株式会社

代表取締役会長・CEO

古森 重隆

成長し続けるために「自ら変化を作り出す」企業へ



絶えず新しい商品や価値を生み出し続けるため、
スピーディで果断な経営を継続

「自ら変化を作り出す」企業を実現する経営

FUJIFILM
Value from innovation

価値のある商品やサービスを社会に提供



売上と利益を獲得



利益を未来に向けて投資することで
次の価値を創り出し、強い組織を存続させていく



ドキュメント事業の事業基盤強化

FUJIFILM
Value from innovation

富士ゼロックスの
完全子会社化

- 富士ゼロックス株式25%の取得*1: 22億米ドル
- XIP*2持分及びOEM権取得: 1億米ドル

ゼロックスとの
新たな協業の枠組み

- 富士ゼロックスが、ワールドワイドでゼロックス以外へのOEM供給を拡大
- ゼロックスに対し、中長期的に製品供給を継続

富士ゼロックスの
構造改革

- 2018年3月期より業務改革・コスト削減を実施中
- 営業利益550億円の構造改革効果
(2021年3月期見込、対2017年3月期)

*1 富士フィルムホールディングスが間接的に100%保有するグループ会社による取得を含む

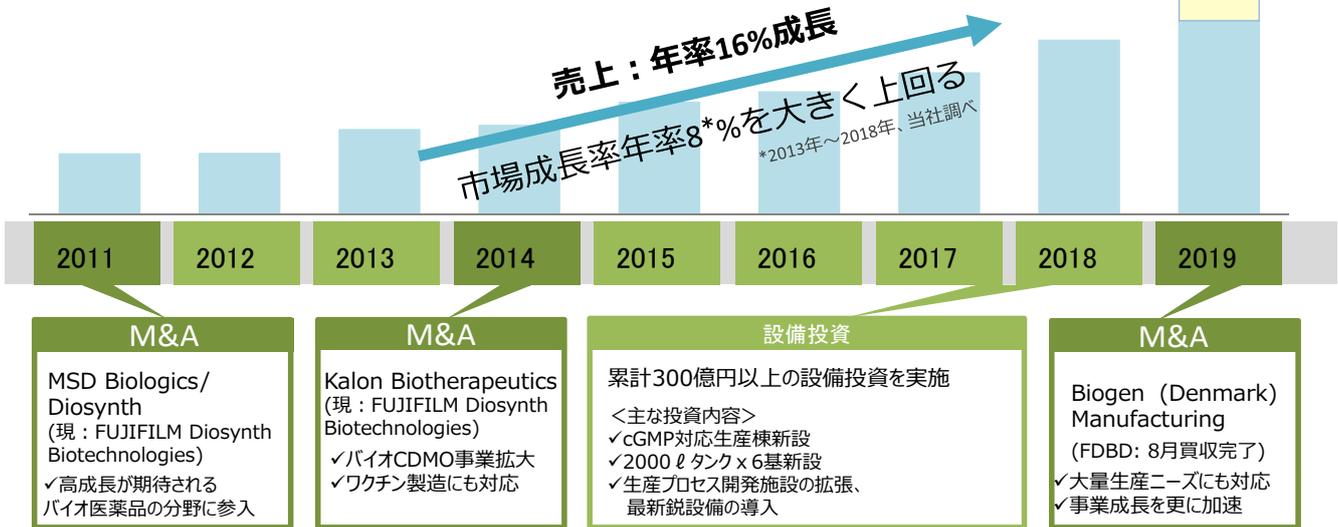
*2 欧米でレーザープリンターなどのOEM供給を行うゼロックスと富士ゼロックスの合併事業「Xerox International Partners」



変化を予測し先手を打つ：バイオCDMO

買収によりバイオCDMO業界の黎明期に参入
市場成長を見越した積極投資・能力増強により事業を拡大

FDBD
買収効果

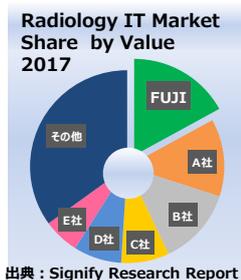


自ら変化を作り出す：医療IT（メディカルシステム）

従来からの資産(技術・ノウハウ・体制)



- 高度な画像処理技術・ノウハウ
- 画像処理技術を支える研究体制



世界NO.1シェア

AI技術ブランド「REiLI」による新たな価値提供



FUJIFILM が70年以上培ってきた最先端の画像処理技術と最新のAI技術を組み合わせることにより、次世代画像診断へ新たな価値を創造

自ら変化を作り出す：医療IT（メディカルシステム）

富士フイルムがAIを通して目指す未来の医療



医師の業務フローをAIにより半自動化することにより、
医師が患者とじっくり向き合える時間を創出。



AIによって放射線科医の読影を支援。
病変の見落としリスク軽減に貢献し、疾病の早期発見へ。

世界中の誰もが高品質な医療を受けられる未来へ。

中期経営計画「VISION2019」最終年度 業績予想

(単位：億円)

	2019年3月期	2020年3月期 中期経営計画 (VISION2019)	2020年3月期 (予想)	対前年度
売上高	24,315 100%	26,000 100%	24,350 100%	35 +0.1%
営業利益	2,098 8.6%	2,300 8.8%	過去 最高 2,400 9.9%	302 +14.4%
税金等調整前 当期純利益	2,128 8.8%	-	過去 最高 2,450 10.1%	322 +15.2%
当社株主帰属 当期純利益	1,381 5.7%	1,500 5.8%	過去 最高 1,620 6.7%	239 +17.3%
ROE	6.7%	7.3%	8.0%	+1.3%
為替：米ドル	111円	110円	108円	3円高
：ユーロ	128円	120円	122円	6円高
銀価格（/kg）	55,000円	62,000円	56,000円	+1,000円

* 2020年3月期 営業利益 為替感応度 米ドル：8億円 ユーロ：8億円

富士フィルムは、社会課題の解決に挑戦し続ける

FUJIFILM
Value from innovation



FUJIFILM
Value from Innovation